

## WLB 推進を検討している皆様へ

### WLB 推進前の課題、問題

取組開始前は、1 顧客に対して 1 人が担当していたため、担当者が休暇を取りづらく、特定の従業員だけ時間外労働が多い傾向にありました。担当者が不在のため、お客様に迷惑をかけてしまうこともありました。

### WLB 推進時の困難点、克服策

「残業があるのが当たり前」の風潮の中、残業 0 時間取組を推進するにあたって「不平不満が出るのではないか」「実際に仕事が回るのだろうか」という心配もありました。社員全体ミーティングで、代表から「残業 0 時間への強い決意決断」が伝えられ、推進担当者はそれを実現するために、社員への周知を徹底しました。また物理的にも、サーバーを切って作業ができない状況にするなどの工夫をしました。導入後、時間が経つにつれ、社員も「仕事を定時に終わらせるしかない」と思うようになり、徐々に理解を得られるようになりました。

### WLB 推進による効果

「定時に退社できるため、仕事以外で交友関係を広げられるようになり、そこで知り合った人からさまざまな刺激を受け、見聞が広がり、それが仕事につながるようになった」という声もありました。労務コンサルタントの会社として、自らの会社でワークライフバランスを実践していくことで、お客様に対してより具体的にアドバイスできるようになりました。

## WLB 推進を検討している皆様へメッセージ

従業員に入社して良かったなと喜んでもらえるためには、ワークライフバランスの推進は必然だと思います。会社によって状況は異なりますが、実現するという経営者の執念が何よりも大事だと思います。



# WORK LIFE BALANCE

認定部門 長時間労働削減取組部門

## 株式会社小林労務



認定部門 長時間労働削減取組部門

# 株式会社小林労務



代表者名  
上村 美由紀

創立  
2004年

所在地  
東京都千代田区麹町2丁目2番  
麹町サンライズビル5F,6F,7F

TEL/FAX  
03-3261-4911 / 03-3261-7790

従業員数  
12名 (うち正社員10名)

URL  
<http://www.kobayashiroumu.jp>

## 取組内容

- ・労働時間等設定改善委員会の設置  
年に4回、労働時間等設定改善委員会を開催し、労働時間短縮のための方法、生産性向上のために講ずべき措置、取引先サービス向上のために講ずべき措置、経費の増加抑制のために講ずべき措置等を検討しています。
- ・残業0時間取組  
終業後はパソコンが使用不可となるようにし、残業0時間を徹底しています。16時になると、周囲の忙しそうなお客に声をかけ、手伝うなどして協力し合っています。
- ・チーム内での業務効率化ミーティングの実施  
チームごとにチームリーダーを中心にミーティングで業務効率化や有給休暇の取得を促しています。日報のクラウド導入による可視化、互換性向上のための仕事のマニュアル化、時間短縮のための電子申請の利用、情報共有化による作業重複の排除などにより業務効率化を図りました。

## 従業員の声

- ・残業0時間ということで、仕事にメリハリがつくようになりました。全員が作業効率を考えるようになり、意見交換することでコミュニケーションを取ることが増えました。
- ・ライフ面での充実が得られるようになり、その分、作業効率など仕事について考える時間が増えたと思います。
- ・16時の時点で「大丈夫ですか?」「何か手伝えることはありますか?」と声をかけることになっているので、残業になりそうなきに助けてもらうことができます。逆に、残業になりそうなお客の手伝いをするときもあり、チームワーク力が上がったように思います。

## 事業内容

労務コンサルタント業務  
(労務管理・給与計算代行・就業規則作成・手続業務代行・年金相談等・会社設立手続き・会社定款・建設業許可申請・在留許可申請等)  
※社会保険労務士業務、行政書士業務に関しては社会保険労務士法人と行政書士法人が対応

## 目的/理念

・社員の願いを叶える会社  
従業員ひとりひとりが、プライベートでのやりたいこと、夢を実現できる会社を目指すため、残業時間の削減や有給休暇取得促進に取り組んでいます。

